

■ 農作物の生育状況と今後の対策等(10月)

令和6年10月18日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稻

(1) 刈取り進ちよく状況

管内の稲刈りは、刈取り始め(5%)が9月16日で平年より6日早く、刈取り最盛期(50%)は9月26日で平年より7日早く、刈取り終わり(95%)は10月8日で平年より7日早かった。

(2) 今後の対策

稲わらは焼却せず、堆肥化やすき込みなど有効利用に努める。

2 大豆

(1) 生育の状況

10月中旬から成熟期を迎え、10月下旬からコンバインによる収穫適期になると推定される(おおむね平年並)。

(2) 今後の対策等

汚粒発生を防止するため、大型雑草や青立株の抜き取りを行い、適期に収穫する。

3 小麦

(1) 生育の状況

10月6日からは種作業が行われている。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

ア 生育観測ほ

10月10日現在、いも長は平年をやや上回り、いも重、いも径は平年を下回った。

病害虫は、葉渋病、炭そ病、ナガイモコガの食害、ハダニ類の発生が見られる。

イ 一般ほ場

病害は葉渋病、炭そ病が発生しており、発生が多いところでは、茎葉が枯れているところが見られる。虫害はナガイモコガの食害が見られる。

表1 ながいも生育観測ほの生育状況（10月10日現在）

年 度	定 植 期			9月10日現在 (本年調査日:9月10日)			10月10日現在 (本年調査日:10月10日)			病害虫の 発生状況	
	植付期 (月日)	種いも の種類	萌 芽		いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)	いも長 (cm)	いも重 (g)		いも径 (mm)
			始め (月日)	揃い (月日)							
本 年	5/20	ガンク欠	6/20	6/24	86.7	1,040	55.1	97.3	1,113	52.7	少
(平年比)	遅15日		遅15日	遅13日	105%	101%	94%	105%	87%	89%	
平 年	5/5	ガンク欠	6/5	6/11	82.2	1,032	58.8	92.4	1,286	59.5	
前 年	5/2	ガンク欠	6/10	6/14	88.3	927	52.7	102.0	1,268	55.7	少

※庄司系2年子・120～150g ガンク切除

(2) 今後の対策等

- ア 通路に落ちたむかごの処理等、収穫に向けた準備を計画的に行う。
- イ アクが発生しないように早掘りを行わない。

2 にんにく

(1) 作業進捗

植付け作業の始まり(5%)は、平年より6日遅い10月3日で、最盛期(50%)は平年より5日程度遅い10月12日頃と見込まれる。

9月下旬、10月上旬の降雨や稲刈り作業により植付け作業が遅れており、終わり(95%)は、平年より7日程度遅い10月18日頃と見込まれる。

(2) 今後の対策等

植付けが遅れている場合は、ほ場の条件を確認しながら、出来るだけ早く植付けする。

3 トマト

(1) 生育の状況

10月10日現在の生育観測ほでは、9月以降、草勢が急激に低下したことによる着果不良と、夜温が低下してきたことによる同心円状裂果の発生などにより収穫量が低下している。

病害虫は、すすかび病のほか、灰色かび病による果実のゴーストスポット、タバコガ類幼虫による果実及び茎葉の被害が見られる。

(2) 今後の対策等

- ア 裂果を防ぐため、夜間はハウスを閉めて保温し、日中は適宜開放して湿度を下げる。また、葉かきも行う。
- イ 病害虫の発生状況に合わせて、適切に防除する。

4 いちご

(1) 生育の状況

ア とちおとめ

定植は9月3日と平年より10日遅かった。

草高は10.4cm（平年比56%）と平年を大幅に下回っている。

炭そ病、うどんこ病、ハダニ類の発生がみられる。

調査株10株中1株が開花している状況であった（ハウス全体では1割程度開花）。

イ よつぼし

定植は9月25日と平年より10日遅かった。

草高は13.3cm（平年比92%）と平年をかなり下回っている。

ヨトウムシ類、コナジラミ類の発生がみられる。

表2 いちご生育観測ほの生育状況（10月10日現在）

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)	クワン径 (mm)
とちおとめ	本年	9月3日	10.4	5.6	7.9	6.6	13.9
	(平年比)	(10日遅い)	(56%)	(49%)	(78%)	(83%)	(99%)
	平年	8月24日	18.6	11.4	10.1	8.0	14.0
	前年	8月25日	21.9	12.3	11.1	8.7	14.7
よつぼし	本年	9月25日	13.3	8.5	6.7	5.2	9.6
	(平年比)	(10日遅い)	(92%)	(89%)	(79%)	(75%)	(71%)
	平年	9月15日	14.4	9.6	8.5	6.9	13.5
	前年	9月19日	17.9	11.9	9.7	7.9	16.7

注) 平年:「とちおとめ」:平成17~令和5年の19か年平均

但し、定植日については平成28年~令和5年の8か年平均

「よつぼし」:平成30~令和5年の6か年平均

(2) 今後の対策等

ア 適正な温度管理に努める。

イ 炭そ病、うどんこ病、ハダニ類、コナジラミ類、ヨトウムシの防除を行う。

Ⅲ 農作業事故防止

1人で作業する時は、事前に家族等に所在を知らせておき、農業機械の操作を行う際は、周囲の安全確認や、ヘルメット着用などの事故予防対策に留意する。また、思わぬトラブルが発生した場合には、まずエンジンを停止させる。

Ⅳ 農薬適正使用

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

農薬は、周辺作物や住宅地等に飛散しないよう適正に使用し、使用後は、忘れずに栽培日誌、GAPチェックリストへの記帳を徹底する。